

2008 年 吉備国際大学保健科学部 専任教員業績リスト(五十音順)

このリストは、専任教員が2008年1月1日から2008年12月31日までに刊行したり、かかわったりした①著訳書、②学术论文、③報告書、④学会発表、⑤書評論文、⑥雑誌、⑦新聞、⑧公開講座、⑨放送、⑩講演である。紀要委員が、12月8日までに自己申請するように各専任教員に依頼し、返却された申請書に沿って作成した。なお、自己申請に応じなかったか、あるいは上記期間内に該当する刊行物や活動がなかった専任教員に関しては、このリストから除外した。

自己申請の依頼に際して、教員間の書式を統一するために、①著訳書（単著、編著、編、共編著、共著、分担執筆、訳、監訳、共訳、分担訳などの類別、並びに、出版社、発行年月日を明記、共編・共著・共訳の場合は共編著訳書名を列記、分担執筆・分担訳の場合は編者名・監訳者名をそれぞれ記載）②学术论文（学術誌名、巻、ページ、単著、共著の別を明記し、共著の場合はそれが第一著者か、連名著者（第二著者以下）かを記載）、③報告書（単著、共著の別を明記し、共著の場合はそれが研究代表者なのか、連名著者（第二著者以下）かを記載）、④学会発表（国内外を問わず、機関誌を刊行する学会の主催する学会報告に限り、単名発表、連名発表の責任者（登壇者）、連名発表での連座の別を明記）、⑤書評論文、⑥雑誌、⑦新聞、⑧公開講座、⑨放送、⑩講演、それぞれの記載スタイル（ここには非掲載）を例示し、一応それにしたがって提出いただいた。

理学療法学科

河村 顕治（かわむら・けんじ）

① 著訳書

(1)救急処置「なぜ・なに」事典 外傷編3 第2版 東山書房（京都）、2008. 8（共著連名著者）

② 学术论文

(1)Microwave irradiation induces neurite outgrowth in PC12m3 cells via the p38 mitogen-activated protein kinase pathway Neuroscience Letters 2008 Feb 13; 432(1): 35-9.（共著連名著者）

(2)大腿直筋を模したベルトを利用した立ち上がり運動によるCKCトレーニング 理学療法岡山 Rigaku Ryoho Okayama NO27, 38-42, 2007. 12（共著連名著者）

(3)3次元動作解析による移乗介護動作における6局面化とその検証 人間と科学 県立広島大学保健福祉学部誌 第8巻(1)117-127, 2008（共著連名著者）

(4)Artepillin C Derived from Propolis Induces Neurite Outgrowth in PC12m3 Cells via ERK and p38 MAPK Pathways Neurochem Res. 2008 Sep; 33(9): 1795-803.（共著連名著者）

(5)変形性股関節症患者の前額面での特徴点を抽出するための歩行解析. 医学と生物学 152(2), 57-65, 2008（共著連名著者）

(6)The electrophysiological features of the hip abductor muscles during gait in patients with hip joint osteoarthritis. MEDICINE AND BIOLOGY 152(3), 83-87, 2008（共著連名著者）

(7)大腿直筋のCKCサイレント現象とシーティングベルトによるハムストリングの活性化 吉備国際大学保健科学部研究紀要, 第13号, 57-61, 2008. 3（共著第一著者）

(8)高浸透圧刺激による細胞内シグナル伝達機構の解析 吉備国際大学保健科学部研究紀要, 第13号, 85-89, 2008. 3（共著連名著者）

(9)Isokinetic Closed Kinetic Chain Exercise による膝リハビリテーション 吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要第9号, 1-7, 2008. 3（共著第一著者）

- (10)精油の主成分リモネンによる p38MAPK 経路を介した PC12m3 細胞の分化 吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要第 9 号, 15-19, 2008. 3 (共著連名著者)
- (11)インターフェロンによる PC12 変異細胞の神経分化誘導の解析 吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要第 9 号, 45-49, 2008. 3 (共著連名著者)
- (12)Alignment control exercise changes lower extremity movement during stop movements in female basketball players. Knee. 2008 Aug; 15(4): 299-304. (共著連名著者)

④学会発表

- (1)「Isokinetic Closed Kinetic Chain Strength Testing and Exercising of the Knee」The 54th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society (San Francisco, California) 2008 年 3 月 1 日～3 月 5 日 (単独)
- (2)「荷重立位前後揺動刺激と筋電気刺激による運動効果の検討」第 43 回日本理学療法学術大会 (2008 年 5 月 15 日～5 月 17 日) (福岡) (連名発表連座)
- (3)「バランスディスクを用いたエクササイズの重心動揺解析」第 43 回日本理学療法学術大会 (2008 年 5 月 15 日～5 月 17 日) (福岡) (連名発表連座)
- (4)「荷重立位周期的水平揺動刺激と筋電気刺激による筋力維持・廃用防止法」第 45 回日本リハ医学会学術集会 (2008 年 6 月 4 日～6 月 6 日) (横浜) (単独)
- (5)「ベッドから車椅子への移乗介護動作の局面化の 3 次元動作解析と表面筋電図による検証」第 45 回日本リハ医学会学術集会 (2008 年 6 月 4 日～6 月 6 日) (横浜) (連名発表連座)
- (6)「表面筋電図と 3 次元動作解析による移乗介護動作の 6 局面化」日本人間工学会第 49 回大会 2008 年 6 月 14 日, 15 日 共立女子大学 (東京) (連名発表連座)
- (7)「荷重立位周期的揺動刺激と筋電気刺激による下肢筋力トレーニング」第 20 回日本運動器リハビリテーション学術集会 2008 年 7 月 12 日 (東京) 日本科学未来館 (単独)
- (8)「ソックスの形状の違いがゴルフのスイング動作に及ぼす影響について」第 19 回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (2008 年 11 月 1 日, 2 日) 東京 (連名発表連座)
- (9)「移乗介護動作の標準化にむけて ベッドから車椅子への移乗介護動作の 3 次元動作解析」第 16 回日本介護福祉学会大会 2008 年 11 月 2 日 (仙台国際センター) (連名発表連座)
- (10)「ソックスの形状がプロゴルファーのゴルフスイングに及ぼす影響」第 30 回臨床歩行分析研究会定例会 2008 年 11 月 2 日 (北海道工業大学: 札幌) (連名発表登壇者)
- (11)「筋電気刺激を利用した Closed Kinetic Chain における二関節筋作用の解析」第 35 回日本臨床バイオメカニクス学会学術集会 2008 年 11 月 14 日～11 月 15 日 大阪 (大阪国際交流センター) (連名発表連座)
- (12)「荷重立位での周期的前後揺動刺激が脊髄損傷患者の下肢筋群に及ぼす効果」第 22 回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会 2008 年 12 月 14 日 (岡山大学医学部) (連名発表登壇者)

⑨放送

- (1)「吉備国際大学 まるごと吉備国 ラジオでゼミナール 第 13 回」出演 河村顕治, アシスタント 奥富亮子 RSK ラジオ 2008 年 1 月 5 日(土)放送
- (2)「吉備国際大学 まるごと吉備国 ラジオでゼミナール 第 14 回」出演 河村顕治, アシスタント 奥富亮子 RSK ラジオ 2008 年 1 月 12 日(土)放送

⑩講演

- (1)「変形性膝関節症における CKC 運動の効果」第 8 回福岡県リハ研究会 (久留米大学医学部) 2008 年 1 月 12 日
- (2)「五十肩・腰痛・膝痛治療の常識非常識」平成 20 年度高梁地域愛育委員・栄養委員研修大会 (高梁総

合文化会館) 2008 年 7 月 4 日

- (3)「五十肩・腰痛・膝痛治療の常識非常識」河村顕治 平成 20 年度第 2 回高梁市老人クラブ健康教室(保健福祉研究所) 2008 年 10 月 23 日

原田 和宏 (はらだ・かずひろ)

①著訳書

- (1)「エビデンスに基づく理学療法－活用と臨床思考過程の実際(内山 靖編)」医歯薬出版, 東京, p135～p158, 2008 年 6 月(分担執筆)「第 3 章 エビデンスに基づく理学療法の実際 Part1 疾患・病態別 2 脳血管障害(慢性期から維持期)」

②学術論文

- (1)「介護保険領域における理学療法のあり方に関する研究」理学療法科学, 23(2), 219–224, 2008 年 2 月(共著, 連名著者)
- (2)「介護予防における総合的評価の研究: 運動機能, 活動能力, 生活空間の総合関係から」理学療法学, 35(1), 1–7, 2008 年 2 月(共著, 連名著者)

③報告書

- (1)「平成 19 年度老人保健事業推進費等補助金事業(平成 19 年度介護予防事業における運動器の機能向上と生活空間等に関する調査研究事業) 報告書: Elderly Status Assessment Set (E-SAS) による評価の意義と有用性」社団法人日本理学療法士協会 介護予防調査研究委員会, 2008 年 3 月 31 日(共著)

④学会発表

- (1)「大腿骨頸部骨折事例における退院後の移動能力の変化と転倒自己効力感の関係」第 43 回日本理学療法学会学術大会, 2008 年 5 月 16 日, 福岡国際会議場(連名発表の連座)
- (2)「地域在住高齢者における連続歩行距離の評価および順序尺度変数としての妥当性」第 43 回日本理学療法学会学術大会, 2008 年 5 月 16 日, 福岡国際会議場(連名発表の連座)
- (3)「医療系大学生の学生生活の実態と栄養分析」第 43 回日本理学療法学会学術大会, 2008 年 5 月 16 日, 福岡国際会議場(連名発表の連座)
- (4)「アルツハイマー型認知症高齢者における施設内での転倒と行動障害に関する検討」第 22 回中国ブロック理学療法士学会, 2008 年 9 月 6 日, 米子コンベンションセンター(連名発表の連座)
- (5)「虚弱高齢者における生活空間の変化と歩行スピードの関連性」第 26 回東北理学療法学会学術大会, 2008 年 11 月 9 日, 山形テルサ(連名発表の連座)

⑩講演

- (1)「介護予防評価 理論と実際 – 高齢者の活動的な地域生活をアセスメント –」(社)日本理学療法士協会主催 平成 20 年度介護予防研修会, 2008 年 6 月 13 日, 於: 臨床福祉専門学校
- (2)「介護予防とは・運動器の機能向上について」総社市介護保険課主催 平成 20 年度介護予防サポーター養成講座, 2008 年 7 月 18 日, 於: 山手ふれあいセンター
- (3)「介護予防評価 理論と実際 – 高齢者の活動的な地域生活をアセスメント –」(社)日本理学療法士協会主催 平成 20 年度介護予防研修会, 2008 年 9 月 12 日, 於: 麻生リハビリテーション専門学校
- (4)「介護予防への取り組み－視点および方法論－」特定施設事業者連絡協議会主催 平成 20 年度(後期)特定施設総合研修, 2008 年 10 月 27 日, 於: 岡山第一セントラルビル 1 号館
- (5)「慢性期脳卒中患者のリハビリテーション・エビデンスをつくるための無作為割り付けに関する検討 – 重要因子の均質分布について –」日本行動計量学会岡山地域部会第 29 回研究会・第 129 回岡山統計研究会,

2008 年 11 月 29 日，於：吉備国際大学岡山駅前キャンパス

- (6)「高齢者における活動的な地域生活の評価と E-SAS」沖縄県福祉保健部高齢者福祉介護課主催 平成 20 年度沖縄県介護予防市町村支援委員会研修会，2008 年 12 月 10 日，於：沖縄県庁講堂

平上二九三（ひらがみ・ふくみ）

②学術論文

- (1)「神経成長因子存在下で神経突起形成が見られない PC12m3 細胞における低周波振動音刺激による神経突起の誘導」人間と科学 県立広島大学保健福祉学部誌 8 号，49-56，2008（共著，連名著者）
- (2)「Microwave Irradiation Induces Neurite Outgrowth in PC12m3 Cells via the p38 Mitogen-activated Protein Kinase Pathway」Neuroscience Letter 432，302-306，2008（共著，連名著者）
- (3)「正常ヒト細胞と平面絹の混合培養による三次元様増殖を指標とした温熱刺激の効果」総合リハビリテーション 36，791-796，2008（共著，連名著者）
- (4)「温熱刺激による平面絹を媒体とした正常ヒト細胞の三次元様増殖と臨床への応用」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要 9 号，9-14，2008（共著，連名著者）
- (5)インターフェロンによる PC12 変異細胞の神経分化誘導の解析」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要 9 号，45-49，2008（共著，連名著者）
- (6)「高浸透圧刺激による細胞内シグナル伝達機構の解析」吉備国際大学保健科学部研究紀要 12 号，85-89，2008（共著，連名著者）
- (7)「培養細胞を用いた温熱療法の効果判定に関する研究」吉備国際大学保健科学部研究紀要 12 号，63-71，2008（共著，第 1 著者）
- (8)「Artepillin C Derived from Propolis Induces Neurite Outgrowth in PC12m3 Cells via ERK and p38 MAPK Pathways」Neurochemical Research 33，1795-803，2008（共著，連名著者）

④学会発表

- (1)「培養細胞を用いたマイクロ波治療効果の検討」第 43 回日本理学療法学術大会，2008 年 5 月 17 日，福岡国際会議場（連名発表の連座）
- (2)「正常ヒト細胞の三次元様増殖を指標とした温熱療法における最適条件の検討」第 43 回日本理学療法学術大会，2008 年 5 月 17 日，福岡国際会議場（連名発表の連座）

横井 輝夫（よこい・てるお）

①著書

- (1)「認知症をもった患者への理学療法上のポイントとは何か？」嶋田智明編集主幹：課題別・図解理学療法技術ガイド，1018-1035，2008 年 5 月（分担執筆）

②学術論文

- (1)「認知症者の BPSD の解釈モデルについての検討」老年精神医学雑誌 第 19 巻 9 号，997-1008，2008 年 9 月（共著，第一筆者）

③学会発表

- (1)「頸部の立ち直りが嚥下動態に及ぼす影響 - 表面筋電図を用いて -」，第 43 回日本理学療法学術大会，2008 年 5 月 16 日（会場：福岡国際会議場）（連名発表の連座）
- (2)「転落に対する不眠の影響」，第 19 回全国介護老人保健施設大会，2008 年 8 月 28 日（京都国際会館）（連名発表の連座）

作業療法学科

岩田 美幸（いわた・みさき）

②学術論文

- (1)「高齢者の没頭体験と健康 QOL」吉備国際大学保健科学部研究紀要 13, 79-84 2008 年 3 月（共著, 連名著者）

④学会発表

- (1)「デイケア利用者におけるソーシャルネットワークと体力・IADL の関係」第 42 回日本作業療法学会 2008 年 6 月（連名発表, 発表者）

加納 良男（かのう・よしお）

②学術論文

- (1)「Microwave irradiation induces neurite outgrowth in PC12m3 cells via the p38 mitogen-activated protein kinase pathway」Neurosci Lett 303 : 21-24 2008 年 2 月（共著, 連名著者）
- (2)「大腿直筋の CKC サイレント現象とシーティングベルトによるハムストリングの活性化」吉備国際大学保健科学部研究紀要 13, 57-61 2008 年 3 月（共著, 連名著者）
- (3)「培養細胞を用いた温熱療法の効果判定に関する研究」吉備国際大学保健科学部研究紀要 13, 63-72 2008 年 3 月（共著, 連名著者）
- (4)「高浸透圧刺激による細胞内シグナル伝達機構の解析」吉備国際大学保健科学部研究紀要 13, 85-89 2008 年 3 月（共著, 第一著者）
- (5)「Isokinetic Closed Kinetic Chain Exercise による膝リハビリテーション」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要 9, 1-7 2008 年 3 月（共著, 連名著者）
- (6)「温熱刺激による平面絹を媒体とした正常ヒト細胞の三次元様増殖と臨床への応用」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要 9, 9-14 2008 年 3 月（共著, 連名著者）
- (7)「精油の主成分リモネンによる p38MAPK 経路を介した PC12m3 細胞の分化」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要 9, 15-19 2008 年 3 月（共著, 連名著者）
- (8)「インターフェロンによる PC12 変異細胞の神経分化誘導の解析」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要 9, 45-49 2008 年 3 月（共著, 連名著者）
- (9)「神経成長因子存在下で神経突起形成が見られない PC12m3 細胞における低周波振動音刺激による神経突起の誘導」人間と科学 県立広島大学保健福祉学部誌 8, 49-56 2008 年 3 月（共著, 連名著者）
- (10)「正常ヒト細胞と平面絹の混合培養による三次元様増殖を指標とした温熱刺激の効果」総合リハビリテーション 36, 791-796 2008（共著, 連名著者）
- (11)「Artepillin C derived from propolis induces neurite outgrowth in PC12m3 cells via ERK and p38 MAPK pathways」Neurochem Res. 33 : 1795-803. 2008 年 9 月（共著, 第一著者）

小池 伸一（こいけ・しんいち）

②学術論文

- (1)「精神障害を有する者の作業選択に伴う意味の度合いと生活満足度」吉備国際大学保健科学部紀要 第 13 号, 73-77, 2008 年 3 月 1 日（共著 連名著者）
- (2)「作業療法学生の学習動機」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要 第 9 号, 21-26, 2008 年 3 月（共

著 第1著者)

- (3)「頭部外傷患者の自動車運転の獲得に向けて」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要 第9号, 41-44, 2008年3月(共著 連名著者)

④学会発表

- (1)「認知症高齢者に対する作業療法～作業活動を通しADL・上肢機能に改善が見られた一例～」第18回全国国民医連神経・リハビリテーション研究会, 2008年11月7日, 於: フォレスト仙台(連名発表の連座)
- (2)「家族の協力が困難な高次脳機能障害を呈した一症例」第26回近畿作業療法学会, 2008年10月26日, 於: ピアザ淡海(連名発表の連座)

小林 隆司(こばやし・りゅうじ)

②学術論文

- (1)「ラット脊髄損傷後の膝関節における軟骨細胞数とプロテオグリカン量の組織学的変化」専門リハビリ第7巻, 34-41, 2008年1月(共著, 連名著者)
- (2)「高齢者の没頭体験と健康関連QOL」吉備国際大学保健科学部研究紀要 第13号, 79-84, 2008年3月(共著, 第一著者)
- (3)「頭部外傷患者の自動車運転の獲得に向けて」吉備国際大学保健福祉研究所紀要 第9号, 41-44, 2008年3月(共著, 連名著者)

③報告書

- (1)「Performanceの基礎となる体力づくり～特殊学級において」(『地域における障害のある子どもの総合的な教育支援体制の構築に関する実際研究』小澤至賢編, 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所), 73-82, 2008年3月(分担執筆, 共著, 第一著者)

④学会発表

- (1)「Lubben Social Network Scale 6-item versionの使用経験」平成19年度岡山県作業療法学会, 2008年3月16日, ウェルサンピア岡山(連名発表, 登壇者)
- (2)「要支援高齢者のソーシャルネットワークとそれに関連する因子」平成19年度岡山県作業療法学会, 2008年3月16日, ウェルサンピア岡山(連名発表, 連座)
- (3)「健常高齢者の友人数とその関連因子」第42回日本作業療法学会, 2008年6月20-22, 長崎(連名発表, 登壇者)
- (4)「要支援高齢者における友人関係が健康に与える影響」第42回日本作業療法学会, 2008年6月20-22日, 長崎(連名発表, 連座)
- (5)「デイケア利用者におけるソーシャルネットワークと体力・IADLとの関係」第42回日本作業療法学会, 2008年6月20-22, 長崎(連名発表, 連座)
- (6)「Introduction of a program that improves central stability of the child with developmental coordination disorder (DCD)」8th European congress of occupational therapy, 2008年5月22-25日, Hamburg(連名発表, 発表者)
- (7)「The relation between the social network and the health-related QOL score for the Japanese elderly」8th European congress of occupational therapy, 2008年5月22-25日, Hamburg(連名発表, 連座)

⑩講演

- (1)「エビデンスと作業療法実践」社団法人岡山県作業療法士会主催2008年度現職者共通研修, 2008年7月27日, 倉敷中央病院
- (2)「障害とは」高梁市主催平成20年度中井町自主リハビリ教室, 2008年8月5日, 中井町健康増進センター

- (3)「特別支援教育巡回相談」福山市教育委員会特別支援教育推進事業，福山市立御幸小学校等訪問指導，2008年1-12月（月1回ペース）
- (4)「自立活動（身体）」岡山県健康の森学園特別支援学校訪問指導，2008年4-12月（月0.5回ペース）

島田 公雄（しまだ・きみお）

②学術論文

- (1)「頭部外傷患者の自動車運転の獲得にむけて」吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要 9，41-44
2008年3月（共著，連名著者）

藪脇 健司（やぶわき・けんじ）

②学術論文

- (1)「高齢者の没頭体験と健康関連 QOL」吉備国際大学保健科学部紀要 13，79-84，2008年3月（共著，連名著者）
- (2)「Reliability and validity of a Comprehensive Environmental Questionnaire for community-living elderly with healthcare needs」PSYCHOGERIATRICS 8，66-72，2008年6月（共著，第一著者）

③報告書

- (1)「大都市で生活する在宅要支援・要介護高齢者を対象とした包括的環境支援プログラムの作成に関する研究」平成19年度公立大学法人首都大学東京傾斜的研究費（特定）（部局分）研究報告書，2008年3月（単著）
- (2)「地域在住健康高齢者に対する予防的健康増進作業療法プログラムの開発に関する研究－大都市東京，いわき市，只見町の比較」平成19年度公立大学法人首都大学東京傾斜的研究費（一般）（部局分）研究報告書，2008年3月（共著，連名著者）
- (3)「在宅要介護高齢者を対象とした包括的環境支援プログラムの作成に関する研究」財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団第18回（平成19年度）研究助成・事業助成報告書，956-981，2008年9月（共著，研究代表者）

④学会発表

- (1)「健常高齢者に対する包括的環境要因調査票の適用可能性」第42回日本作業療法学会，2008年6月20日，於：長崎ブリックホール他（連名発表，登壇者）
- (2)「大都市在住高齢女性の興味と健康関連 QOL の関係」第42回日本作業療法学会，2008年6月20日，於：長崎ブリックホール他（連名発表，連座）
- (3)「在宅要支援・介護高齢者を対象とした包括的環境支援プログラム開発に関する予備的研究」第18回日本保健科学学会学術集会，2008年9月13日，於：首都大学東京荒川キャンパス（連名発表，登壇者）

⑩講演

- (1)「科学，その性格と研究方法」平成19年度東京都作業療法士会新人教育プログラム，2008年3月8日，首都大学東京荒川キャンパス
- (2)「臨床に生かす人間作業モデル」第1回吉備国際大学作業療法学会，2008年11月15日，吉備国際大学

